

# Sapid インストールマニュアル

## –CentOS(32bit)–

愛知県立大学 情報科学部 大久保研究室  
若杉知樹

2015/12/15

## 1 作業環境

Sapid インストールに必要な環境を表 1 に示す. これらのパッケージは執筆時点で最新バージョンである.

ソフトウェア	バージョン
Cent OS	6.7(i686)
Sapid	6.104.4
gcc	4.4.7.-16
g++	4.4.7-16
bison	2.4.1-5
flex	2.5.35-9
openjdk	1.7.0.91
ant	1.7.1-13
tk-dev	8.5.7-5
imake	1.0.2-11
libXt	1.1.4-6.1
libxml2	2.7.6-20

表 1 OS 及びパッケージのバージョン

## 2 パッケージのインストール

パッケージをインストールする際に root 権限が要求されるので, 以下に示すコマンドを実行する.

```
$ su
```

パッケージをインストールする前に次のコマンドを実行する.

```
$ yum update
```

Sapid のインストールに必要なパッケージを以下に示す.

```
$ yum -y install gcc
$ yum -y install g++
$ yum -y install flex
$ yum -y install bison
$ yum -y install java-1.7.0-openjdk-devel.i686
$ yum -y install ant.i686
$ yum -y install tk-devel.i686
$ yum -y install imake.i686
$ yum -y install libXt-devel.i686
$ yum -y install libxml2-devel.i686
```

.bashrc に JAVA\_HOME へのパスを設定する.

```
JAVA_HOME=/usr/lib/jvm/java-1.7.0-openjdk-1.7.0.91
export JAVA_HOME

PATH=$JAVA_HOME/bin:$PATH
export PATH
```

以下に示すコマンドを実行してパスを設定する.

```
$ source ~/.bashrc
```

### 3 Sapid のインストール

<http://www.sapid.org/FTP-CURRENT/> から Sapid の最新バージョンをダウンロードする. このレポートにおいては執筆時点での最新バージョンである 6.104.4 でインストールを行なっている. ダウンロードファイルは以下に示すコマンドで展開する.

```
$ tar xvf Sapid-6.104.4.tar.gz
```

展開したディレクトリを <SAPID\_TOP> と呼ぶこととする.<SAPID\_TOP> に移動し, 以下のコマンドを実行する.

```
$ xmkmf -a |& tee xmkmf_log
$ make |& tee make_log
$ make install |& tee make-install_log
```

最後に, .bashrc に以下の記述を追加し,source コマンドを再読み込みする.

```
if [ -f /usr/local/Sapid/lib/SetUp.sh ]; then
    . /usr/local/Sapid/lib/SetUp.sh
fi
```

## 4 テスト

テスト用のディレクトリを作業用のディレクトリにコピーする. ここでは以下に示すようにホームディレクトリにコピーする.

```
$ cp -r /usr/local/Sapid/sample/test ~/
```

~/test/dhrystone-2.1 に移動し, 以下に示すコマンドでテストを行う.

```
$ mkSapid -a |& tee mkSapid_log $ make test-all |& tee test_log
```

Sapid: Test: dhry: Passed. と表示されればテスト成功である.

~/test/java-zip に移動し, もうひとつのテストも以下のように示す.

```
$ mkSapid -a |& tee mkSapid_log $ make test-all |& tee test_log
```

Sapid: Test: java-zip: Passed. と表示されればテスト成功である.